

栄町まちづくり社会実験 - 選定方法(案)等について -

1. 選定方法(案)

A(アイデア)部門、B(小中学生アイデア)部門は第3回協議会において選定、C(高校生・大学生実施)部門、D(実施事業)部門は、2段階に分けて選定を行う。

(1) A(アイデア)・B(小中学生アイデア)部門

【検討事項】

- 1) 選定は1回、協議会にて行う方法でよいか。(予め、事務局で数案に絞り込む)
- 2) アイデア部門の社会実験への反映の考え方。(アイデアとして一部活用または来年度実施を検討することも考えられる)

【スケジュール案】

- 応募(平成18年7月中旬～平成18年9月10日頃)
- ・市、栄町商店街等でのチラシの配布、ホームページ等にて公募。
- 選定(平成18年9月下旬頃)
- ・協議会にて選定。
- 選定結果発表(平成18年10月上旬)
- ・ホームページ等での発表

(2) C(高校生・大学生実施)部門、D(実施事業)部門

【検討事項】

- 1) 2段階の選定方式でよいか。(予め、事務局で数案に絞り込む)
- 2) 公開プレゼンテーションを行うかどうか。
 - ・公開プレゼンテーションを行う場合、話題性をもたせることができ、協議会の透明性もアピールできる。しかし、アイデアの盗用を懸念する応募者も出る可能性がある(予め「公開プレゼンテーション」ということを明記しておくことで、ある程度回避できるとは考えられる)。選定会は非公開とし、後日結果を発表する。
 - ・公開プレゼンテーションを行わない場合、アイデアの盗用等のトラブルは起こりにくい。プレゼンを非公開で行い、選定及び表彰式を公開で行うことも考えられる。
- 3) 選定された提案について、必ずしもそのまま社会実験として実施するというのではなく、実行委員会で実現可能な計画を作成し実施する。
(提案は協議会に帰属することを予め応募要項に明記する)

【スケジュール案(公開プレゼンテーションを行う場合)】

- 応募期間(平成18年7月中旬～平成18年9月10日頃)
- ・市、栄町商店街等でのチラシの配布、ホームページ等にて公募。
- 1次選定(平成18年9月中旬頃)
- ・協議会にて選定。
- 1次選定結果発表(平成18年10月上旬)
- ・1次選定後、各部門の1次選定通過案(5～6案)の応募者に連絡するとともに、平成18年10月上旬にホームページ(市・協議会等)にて発表。
- 2次選定用プレゼンテーション準備期間(平成18年10月中旬頃～)
- ・1次選定通過者は、2次選定のプレゼンテーション準備を行う。
- 2次選定(公開プレゼンテーション)(平成18年11月下旬頃)
- ・提案内容についてプレゼンテーションを行ってもらう。
 - ・審査員は、協議会委員とする。
 - ・選定は非公開で、結果については後日ホームページ等で発表する。
- 2次選定結果発表(平成18年12月上旬頃)
- ・まちづくり社会実験実行委員会の立ち上げ。
- その他
- ・1次選定通過者への交通費支給

スケジュール案（公開プレゼンテーションを行う場合）

		6 月		7 月		8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			1 月				
		中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
募 集	募集要項(案)等	—————																							
	応募期間				—————									C・D部門・2次プレゼンテーション準備											
選 定	選定基準の検討			—————																					
	A・B部門選定																							
	C・D部門選定										(1次)				(2次・公開プレゼンテーション・)								
	発表																								
協 議	協議会			第2回									第3回(選定)						第4回(公開プレゼンテーション)						
	実行委員会																					第1回			
広 報	ホームページ			準備・応募要項発表										1次選定結果発表						2次選定結果発表					
	投げ込み																								

..... 事務局による事前選定

事前選定について。

案 事務局のみで事前選定

案 事務局+数名の事前選定会を開催

(事務局+有識者+地元まちづくり実践者
+地元関係団体と公的団体から数名)

2 . 審査基準の考え方（案）

（1）A（アイデア）・B（小中学生アイデア）部門
斬新性、独自性

地域性、歴史・文化のとらえ方のおもしろさ

（2）C（高校生・大学生実施）・D（実施事業）部門
将来のまちのビジョンをどう見通しているか。実験の恒常性（実験の後にどうつながっていくか）

栄町への波及効果

斬新性、独自性

地域性、歴史・文化を活かしているか

市民参加や地元との連携の可能性

事業者の実施能力（資金力・経営力・信用度等）

実現性

3 . 表彰について

（1）表彰式

・表彰式を行うかどうか（スケジュール案は表彰式を行わない案となっています）

（2）副賞

・A・D部門（一般向け）を、栄町の銘品（焼き蛤等）とすることは可能か。

・B・C部門（子ども・学生向け）を、千葉市の動物園等のチケットや千葉ロッテマリーンズやジェフ千葉のグッズ等とすることでよいか。